

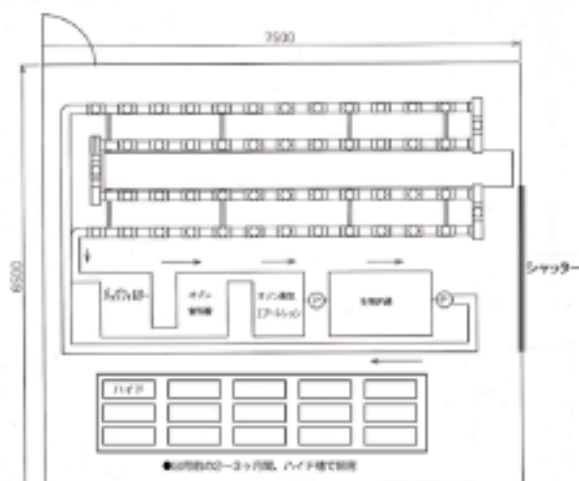
小規模陸上養殖の共同研究

既報（JIFAS NEWS No107）の、JIFASと海洋政策研究財団の共同研究開発がスタートし、その一環として平成17年11月11日北海道大学で実証実験が行われたアワビの「閉鎖循環式陸上養殖システム」見学、研究会が開催されました。

本研究の目的は、陸上養殖システムの実用化、普及を拒んでいる高価なシステムや維持管理コスト高を見据え、陸上養殖技術の根幹をなす用水浄化処理装置の小型・ユニット化により低コストで維持管理が容易な小型陸上養殖システムの試設計・試作・基礎実験を行い、普及性をもち経済性に優れたシステム開発を行うことです。

当日は本プロジェクトのアドバイザー、関係者の次の方々が参加されました。

- ・ 高取浩介 国立医薬品食品衛生研究所 衛生微生物部長
- ・ 小暮次雄 食品微生物研究所所長 国際養殖産業会会長
- ・ 田中啓陽 香川大学名誉教授 水産学博士
- ・ 門脇秀策 鹿児島大学水産学部教授 水産学博士
- ・ 中原裕幸 海洋政策研究財団 理事
- ・ 菅原一美 海洋政策研究財団 政策研究グループ長
- ・ 望月秀郎 有限会社ハイ 代表取締役
- ・ 鶴澤正和 イーモーション有限公司 代表取締役
- ・ 谷口雄二郎 株式会社ジファスコーポレーション 代表取締役



小規模養殖(アワビ)システム配置図

本プロジェクトは、海洋政策研究財団の平成17年度「沿岸域の環境浄化に関する調査研究」事業で、海岸に漂着する海草・藻等のゴミ処理については、小型・高性能で操作性がよく、維持管理費が安い汎用性・普及性のある装置の研究開発と併行して行われ、広く一般で活用することにより、沿岸環境の向上に資するものです。

